

# 被災地地域行事支援ボランティアプロジェクト

ESD プラットフォーム WILL (大船渡 ESD プロジェクトチーム) 代表：大西麻亜矢

## 目的

- コロナ禍において中断されていた『赤崎復興市』の再開支援
- 地域行事再開による町おこし支援
- 継続的に地域を支える担い手の発見

## ～ 赤崎復興市 とは ～

岩手県大船渡市赤崎町は、東日本大震災により甚大な被害を受けた。赤崎復興市は赤崎の復興と活性化を願い2013年より公民館と地域住民の手で行われてきた地域行事である。



## 概要

- 活動日程 2023/6/23～26
- 参加人数 20名 (初訪問6名)
- 活動拠点 赤崎漁村センター
- 関係団体 赤崎公民館・中赤崎復興委員会・赤崎復興隊
- 活動内容 赤崎復興市の準備・運営、たこ焼き・焼きそば・スーパーボールすくいブースの運営  
メッセージボードの作成、休憩所の運営、中学生ボランティアのコーディネート  
赤崎復興隊会議 (復興隊のつどい) への参加、居宅訪問、チラシポスティング

	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日
午前	(22夜)神戸発	お宅訪問	赤崎復興市	片付け
午後	赤崎着	備品準備 会場設営	撤収作業 復興隊のつどい	赤崎発
夜	準備計画づくり	打ち合わせ	懇親会	(27朝)神戸着

## 赤崎復興市



## ブースの様子



…たこ焼き  
ブース

スーパー  
ボール  
すくいブース…

## 復興隊のつどい



## 活動の効果

- 多くの方が来られ、活気ある赤崎の様子を見ることができた。
- 赤崎で暮らしている方が互いに繋がりを取り戻す機会になった。
- 赤崎に住む中学生/ユースとつながることができた。



## 参加者の感想

- 赤崎の皆さんと復興市の準備に取り組む中で、地域の温かさや繋がりを感じた。
- 初めての赤崎で復興隊が高齢の方々ばかりだったけどとてもパワフルだった。
- 中学生が多数ボランティアとして参加しており、未来への希望を感じました。

## 今後の展望

- 久々の復興市の開催により、今後の地域活動を支える地盤を作ることができた。
- 一方で、高齢化や若者不足などにより継続的な地域活動の実施には不安がある。
- 加えて、コロナ禍を経て神戸からのボランティア派遣を支援する動きが弱くなっている。
- ➔ 継続的に地域活動を行うための仕組みづくり/担い手育成を行っていききたい。  
またこのような地域行事がどのように赤崎の活性化につながるのかについても再検討したい。

